



戦略計画立案ガイド

戦略計画の立案とは、「こういうクラブになりたい」というビジョンを描き、その実現に向けて目標を立てるプロセスです。戦略計画を立てているロータリークラブは、立てていないクラブよりも活発であることが分かっています。また、戦略計画のあるクラブの会員は、クラブとロータリー全体に対する満足度が高いという調査結果が出ています。

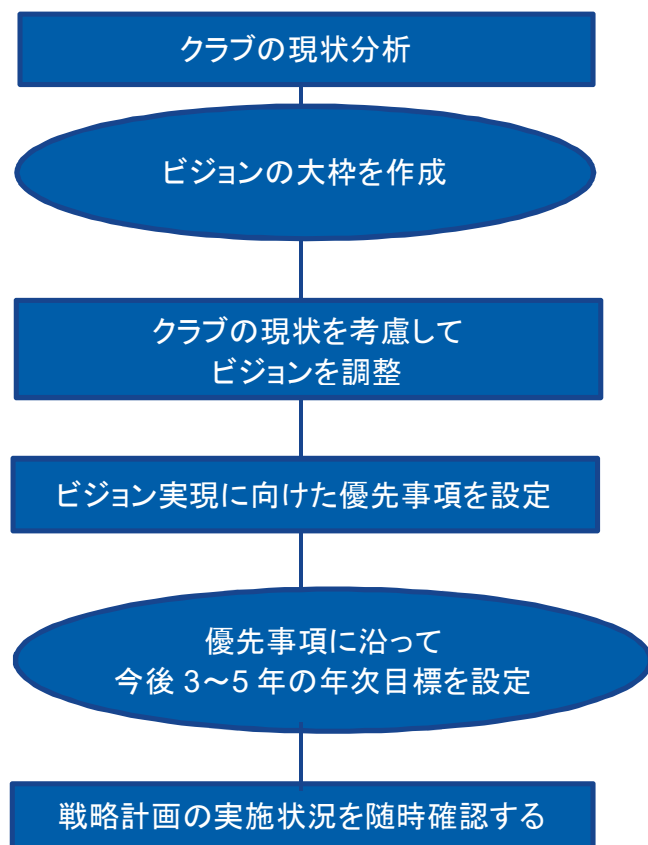
この「戦略計画立案ガイド」は、クラブのビジョンに沿った長期的な優先事項と目標を定めるための資料です。ロータリークラブ向けに作られていますが、地区の戦略計画立案にもご活用いただけます。

戦略計画を立案する際の考慮点：

- クラブの元リーダー、現リーダー、次期リーダーから成る戦略計画チームを結成し、計画の立案と実行を監督する。
- 戦略計画立案会議では、偏りなく物事を考えることができる人が進行を担当する。
- 幅広い見解を取り入れるため、できるだけ多様な会員が立案に参加する。
- クラブの目標が地区目標と[ロータリー戦略計画](#)の目標に沿ったものとなるようにする。

戦略計画立案モデル

戦略計画の立案は、まずクラブのビジョンとその実現に向けた優先事項の設定から始まります。次に、優先事項を達成するための年次目標を定めます。



戦略計画立案のワークシート

1. クラブの現状はどうか

クラブの長所と短所を挙げ、次に地域社会に存在する機会と課題を挙げてみましょう。

クラブの現状評価を行う際には、[ロータリークラブ・セントラル](#)、[クラブの健康チェック](#)、[会員増強のための評価ツール](#)、[元気なクラブづくりのために\(日本版\)](#)をご活用ください。

クラブの長所	クラブの短所

地域社会に存在する機会(例:新しい会社やビジネス、増えている人口層など)	地域社会に存在する課題(例:経済の悪化、競合する奉仕団体など)

2. クラブは何を目指しているのか

クラブが目指す3～5年後の未来像の特徴を5～10挙げてください。

クラブのビジョンを1文にまとめてください(ほかの奉仕団体と比べ、クラブの独自性や特徴を表した表現を入れる。例:「地域において最も国際感覚のある奉仕団体となること」「青少年の支援に地域で最も力を注いでいる奉仕団体となること」など)。戦略計画チームがビジョンを作成した後、クラブ全員からの支持を得ることも重要です。

3. どのようにビジョンを実現できるか

- 以下の各点を考慮に入れながら、このビジョンの実現に向けたクラブの戦略的優先事項を定める。
 - － クラブの長所と短所
 - － ロータリー戦略計画の目標と地区目標、および地域別会員増強計画の目標
 - － 国際ロータリーとロータリー財団のプログラムと使命
 - － 地域社会に存在する機会と課題
 - － 会員の意見
 - － 3～5年で達成が可能かどうか
- チームで話し合い、クラブにとって最も重要な戦略的優先事項を選ぶ。優先事項は、ビジョン実現に向けた取り組みで最も大きな成果が期待できるものとする。
- それぞれの優先事項を支える年次目標を定める。
- 年次目標に向けた実行項目、達成期日、リソース、担当者を定める(下表参照)。
- 目標の設定と進捗確認を行うために、ロータリークラブ・セントラルを活用する。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当する会員

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当する会員

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当する会員

4. 目標に向けての進捗はどうか

- 戦略計画チームが、目標に向けた進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて計画への修正を提案する。
- 毎年、クラブ会員とともに戦略計画(ビジョン、優先事項など)を見直し、修正の必要があるかどうかを確認する。
- クラブの決定が戦略計画に沿ったものとなるよう確認し、決定にあたっては戦略計画チームの意見を参考にする。
- 計画の実現に必要なリソースを十分に配分する。
- 3～5年ごとに戦略計画立案プロセスを繰り返し、新しい計画を立てるか、現行の計画を維持する。

戦略計画の進捗を確認するためにクラブが取るステップをご記入ください。これには、確認の期日や周期も含まれます(例:毎月の定例理事会での報告、クラブ協議会での報告、年次評価など)。

--